



公募における圏域設定の考え方
(平成24年度第1回運営審議会で確認済み)

【圏域設定の視点】

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（ミニ特養）は、市内の特別養護老人ホーム等の入所系施設における待機者解消を主目的として整備するものであることから、応募しやすい圏域設定とする。

【圏域設定の考え方】

- ・ミニ特養は、地域密着型サービスではあるものの、入所施設ということから、通所施設に比べ、地域密着度に関する要請は低いものと考えられる。
- ・また、過去の募集では、平成21年度に、特別養護老人ホームのない圏域（1・3・4・7・10）での公募を行ったが、応募がなく、平成22年度に市内全域で公募し整備した経緯がある。
- ・こうしたことから、待機者解消を図る観点から、早期整備に向けて、できるだけ広い圏域から公募することとする。但し、既にミニ特養が整備された1・2・7圏域及び昨年度の公募により決定済みの6圏域は除外するものとする。